

2025年度

東深津町五丁目地区

福山市 東深津町五丁目 地内

急傾斜地崩壊対策工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=16.0m	
	モルタル吹付工	A=71m ²	
	ラス張工	A=71m ²	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、急傾斜地崩壊対策工事（東深津町五丁目地区）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3 日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
- 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
- 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
- 6 積算方法は次のとおりとする。
 - (1) 補正方法
- ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
- イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
- ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
- (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
- 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第3節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第4節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
 - ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
 - ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
 - ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
 - ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
-
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第5節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07. 06. 01(0)	《 凡 例 》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	07 砂防・地すべり等工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 03 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策					Y1D03 レベル1
	1	式			
法面工					Y1D0303 レベル2
	1	式			
構造物とりこわし工					Y1D030101 レベル3
	1	式			
構造物とりこわし 【土質, 施工方法, 押土の有無】 【障害の有無, 施工数量】		m3			Y1D03010101 レベル4
吹付法面取壊し 集積積込有り 人力施工	71	m2			SPK24040028 00 単第0 -0001 表
残土処理工					Y1D030109 レベル3
	1	式			
殻等運搬 【土質】		m3			Y1D03010902 レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間有り 運搬距離23.0km以下(16.0km超)	4	m3			SPK24040151 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分		m3			Y1D03010903 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 コンクリート殻（有筋）					W0001
	4	m3			
吹付工					Y1D030302 レベル3
	1	式			
モルタル吹付 【セメント種類, 吹付厚】		m2			Y1D03030201 レベル4
モルタル吹付工(枠内吹付) 厚8cm [規]100m2未満	71	m2			SS000267 00 単第0 -0003 表
ラス張工 [規]100m2未満	71	m2			SS000187 00 単第0 -0004 表
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
一般管理費計					
＊ ＊ 工事価格 ＊ ＊					
＊ ＊ 消費税相当額 ＊ ＊ 計算情報…… 対象額……… 率………					

本工事費 内訳表

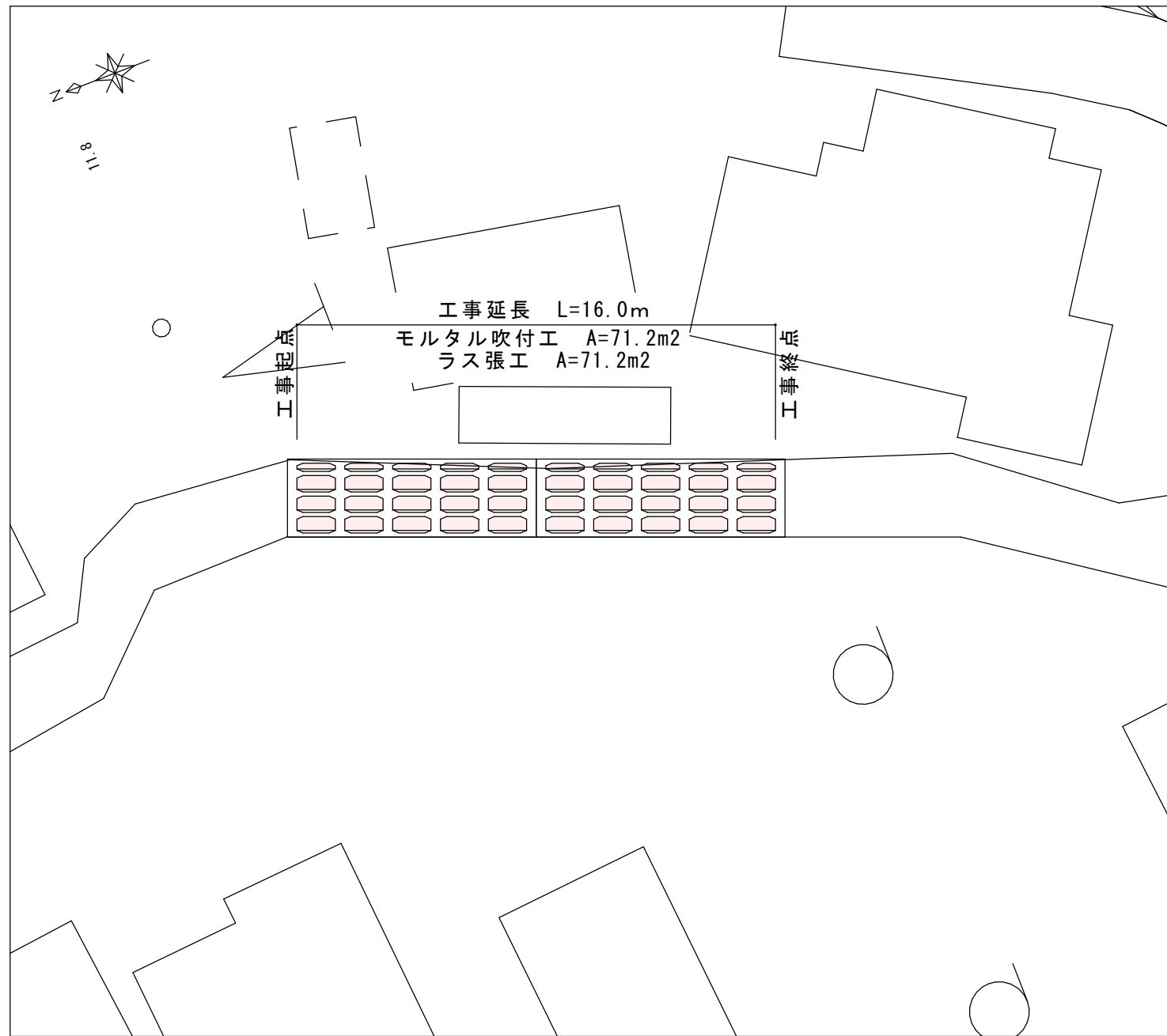
頁0 -0005

[illegible]

位置図 S=1/10,000

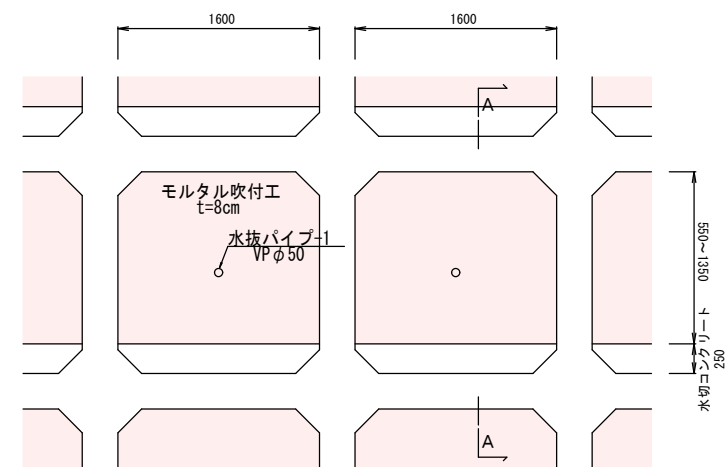


平面図
S=1:250



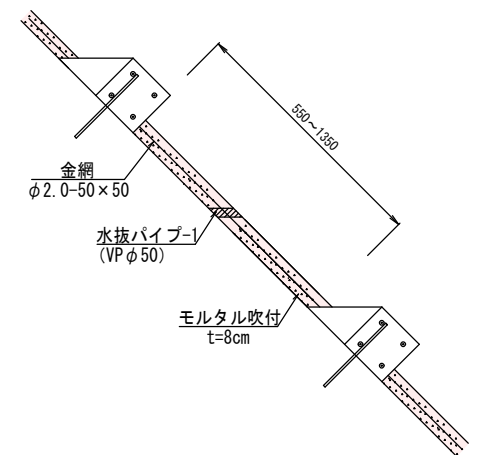
構造図
モルタル吹付工

平面詳細図
S=1:60

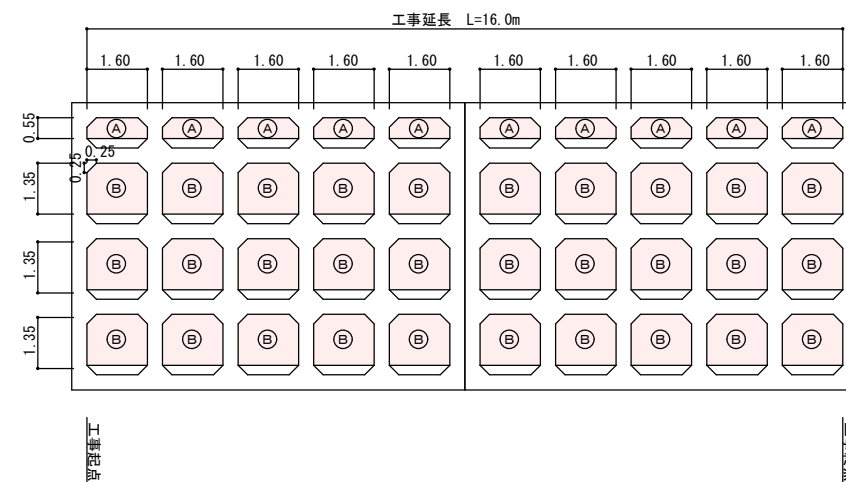


※金網は、線径2.0mm網目50mm、アンカーピンはφ9 (D10) ×L=200mm・1.5本/m2及びφ16 (D16) ×L=400mm・0.3本/m2をそれぞれ標準とする。
※枠内排水のための水抜パイプ-2を閉塞させないよう留意すること。
※金網の継手の重ね幅は、10cm以上とすること。

A-A
S=1:40



モルタル吹付工展開図(参考図) S=1:200



枠A : 0.82m2/箇所×10箇所 = 8.2m2
枠B : 2.10m2/箇所×30箇所 = 63.0m2

・モルタル吹付工 (枠内吹付) 8.2+63.0 = 71.2 (71m2)
・ラス張工 8.2+63.0 = 71.2 (71m2)
・吹付法面取壊し (有筋・平均厚 t=50mm) 8.2+63.0 = 71.2 (71m2)
71.2×0.05 = 3.56 (4m3)

図面番号	1/1	縮 尺	図示
工 種	急傾斜地崩壊対策工事		
種 別	各種図面	番 号	1 / 1
路 線 名 路 河 川	東深津町五丁目地区		
工事箇所	福山市東深津町五丁目地内		
福 山 市			

【 参 考 図 書 】

施工単価表

吹付法面取壊し
集積積込有り
機械構成比：1.51%

労務構成比：97.20%

SPK24040028

人力施工

材料構成比：1.29%

市場単価構成比：0.00%

単第0 -0001 表

1
標準単価：2,980.30000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜賃＞バックホウ(クローラ型) 山積0.5m3(平積0.4) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.51%		バックホウ [クローラ型] 山積0.5m3(平積0.4m3)		KTPC00031 KTPT00031
法面工	50.86%		法面工		RTPC00003 RTPT00003
普通作業員	18.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.45%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	3.99%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.29%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 集積積込有り			B=1 人力施工		

施工単価表

頁0 -0002

吹付法面取壊し

SPK24040028

單第0 -0001 表

集積積込有り

人力施工

1

m2 当り

機械構成比: 1.51%

勞務構成比：

97.20%

材料構成比: 1.29%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

2,980.30000

[illegible]

施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0002 表

吹付法面とりこわし(モルタル)

DID区間有り 運搬距離23.0km以下(16.0km超)

1

9

機械構成比: 21.53%

労務構成比: 64.89%

材料構成比: 13.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,798.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	21.53%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	64.89%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	13.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4 吹付法面とりこわし(モルタル) C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=60 運搬距離23.0km以下(16.0km超)		

施工単価表

モルタル吹付工(枠内吹付)		SS000267		単第0 -0003 表		1		m2		当り	
厚8cm		[規] 100m2未満									
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考					
モルタル吹付工【材工共】 厚8cm		1. 000	m2								
諸雑費		1	式								
*** 単位当たり ***		1	m2								
A=4 厚8cm E=2 枠内吹付の場合				B=5 [規] 100m2未満							

施工単価表

頁0 -0005

ラス張工
[規]100m2未満

SS000187

單第0 -0004 表

1 m2 当り

[illegible]